

「第10回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名(業務名)	令和3年度 江の川用地測量他その2業務
	業務発注者名	中国地方整備局 浜田河川国道事務所
発表者	所属協会名	島根県測量設計業協会
	所属会社	(株)古川コンサルタント
	発表者名	糸賀 寿男

発表事例の概要

< 図表も含め1000字(40字×25行)程度以内 >

業務の内容, 技術的特徴等

(業務の内容)

一級河川江の川の改修事業の予定地である【大貫地区】と、河川事業による家屋個別移転に伴う3地区【大口・仁万瀬・小松地区】において用地測量、用地調査を実施したものである。

(技術的特徴)【大貫地区】

用地測量 5.48万㎡、同時発注の隣接業者と合同で境界立会を実施。合同で境界立会と準備を行い、立会案内資料について統一を図っている。また重複して案内が届かないように、資料は合成し作成。また氾濫により川からの砂が堆積しており既設の基準点、境界杭が20cm～40cm程度埋まっており、境界復元測量の際に広い範囲を探す必要が発生。

用地調査は独立工作物7箇所、収穫樹、用材林、営業1事業所の調査算定を実施。また特殊な補償事例を実施。「有機JASを認定取得する農業法人への補償」であり標準書に単価記載がないため単価の作成作業を実施。

(技術的特徴)【大口・仁万瀬・小松地区】

中国地方では初めての家屋河川事業による家屋個別移転3地区を追加指示で実施。用地測量 1.65万㎡、一部地権者の主張を受け関係機関との協議のうえ地籍図訂正を2筆実施。

用地調査は建物24棟、工作物10戸等の調査算定を実施。また特殊解体費の算定に関するアスベストの調査を行い含有の恐れのある場合は試料採取し分析を実施。

表彰に至る高評価の要因等

- ・準備時間が短い中での境界立会、土地調書・物件調書作成の早急な対応。
- ・中国地方では初めての家屋個別移転の3地区10軒を追加指示の中、元の大貫地区に影響を与えることなく早急に対応。
- ・技術者の知識と経験。(桑茶補償単価作成、現場段取り、地籍図訂正等、今まで培ってきたもの)
- ・関係機関との密な打合せ。(コミュニケーション)
- ・上の4つによる発注者を始め関係機関や地元関係者との信頼関係が築けたこと。

業務遂行上, 苦労した点や工夫した点等

- ・大貫地区は「短期間での立会準備から調書提出」を実質2か月間で対応。個別移転地区と合わせ「複数の専門担当者を配置」し、専門分野と地区も分け複数班体制を整え対応。
- ・境界立会を円滑に行うため、だれもが分かるよう立会者に「班別色の名札」を付けて頂いた。
- ・「感染症対策」として立会時の検温、消毒等の設備と、デジタル境界立会に近い方法も準備。
- ・「補償単価表の作成」多数の項目の聞き取り調査を実施。作業内容及び使用する有機肥料、機械等について仕訳を行い、桑の育成経費を算出。作業ごとの労働時間についても整理。採用する数量、単価、数値、並びに書式については、発注者との協議を複数回行い作成。

* 概要書記載上の留意事項

- 業務の内容, 技術的特徴等を簡潔に記載
- 表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- 業務遂行上, 苦労した点や工夫した点等を簡潔に記載

* 発表資料作成上の留意事項

- パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- 上記の概要書記載上の留意事項 ~ に留意して作成